



デザイン校正をするために
気をつけておきたい事柄②

配色について

① どのように仕上げたいかを決めます。

- 例) 1. 迫力がある、目立たせたい
2. 高級感がある、深みがある
3. シンプル、分かりやすい
4. 和風のテイスト、落ち着いた印象
5. 可愛らしい、優しい印象
6. 暖かさを感じさせたい など

■仕上がりイメージ



② 1番目に目立たせたいもの、2番目に目立たせたいもの…というように何を伝えたいのか順番を決め、その内容に合わせた配色を決めます。

例)



- 1番目→背景を目立たせたい→赤色
2番目→文字を読みやすくしたい→黒色
3番目→ポイントに色を使いたい→緑色

一つずつ順序をつけて考えると内容がまとまり、何を伝えたいのかを明確にできるので、メッセージ性の強いものになります。

ワンポイント

ポイント部分に反対色を使うとメリハリができ、それぞれが浮き出してより目を惹きます。その他、模様やイラストを使用するのも効果的です。

配色の悪い例)



濃い色との配色は、際立って文字が読みにくい

背景と文字色が同系色のため文字が読みにくい

類似な配色は、飲食店の場合、不慣れた印象を与えるため注意

配色例

ワンポイント

目立たせたい場合は、反対色の組合せにすると良い。(例 赤と緑、黄と青)
統一感をだす場合は、似た色や同じ明るさの組合せにすると良い。(例 赤とオレンジ、茶と深緑)



設置場所や内容(食べ物・キャンペーン等)によってもイメージできる色は様々です。
配色で見た目もぐんと良くなりますので、伝わりやすい配色を心がけましょう。